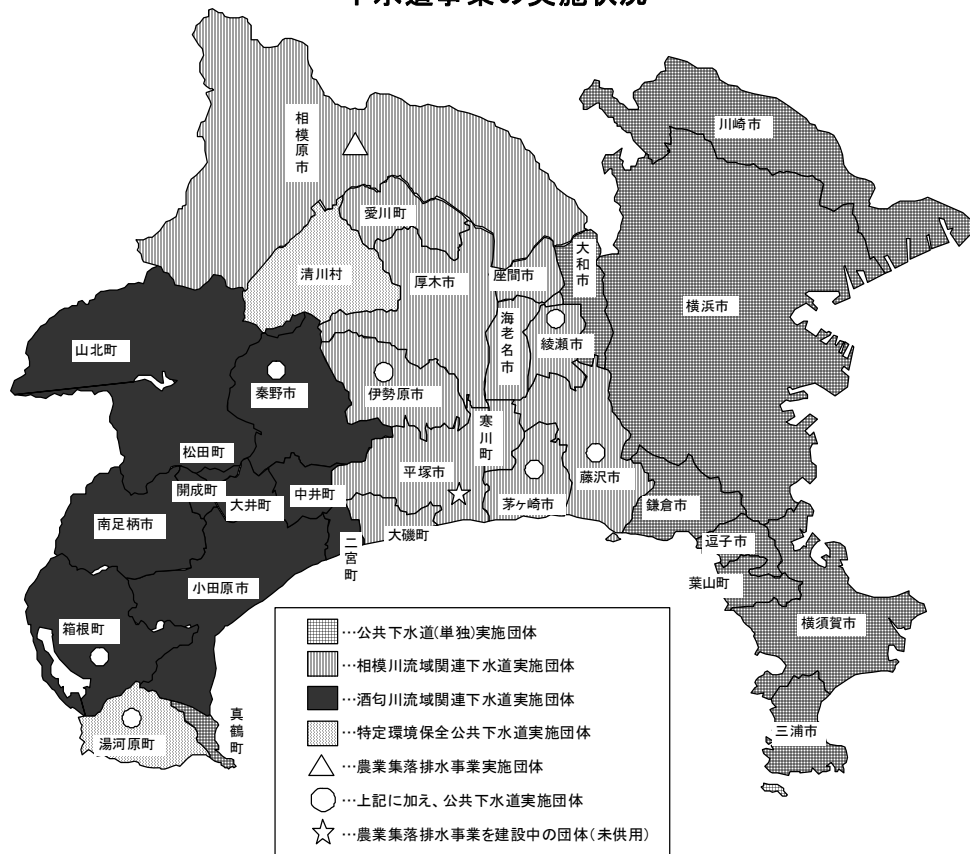


## 2 下水道事業

### (1) 事業概要

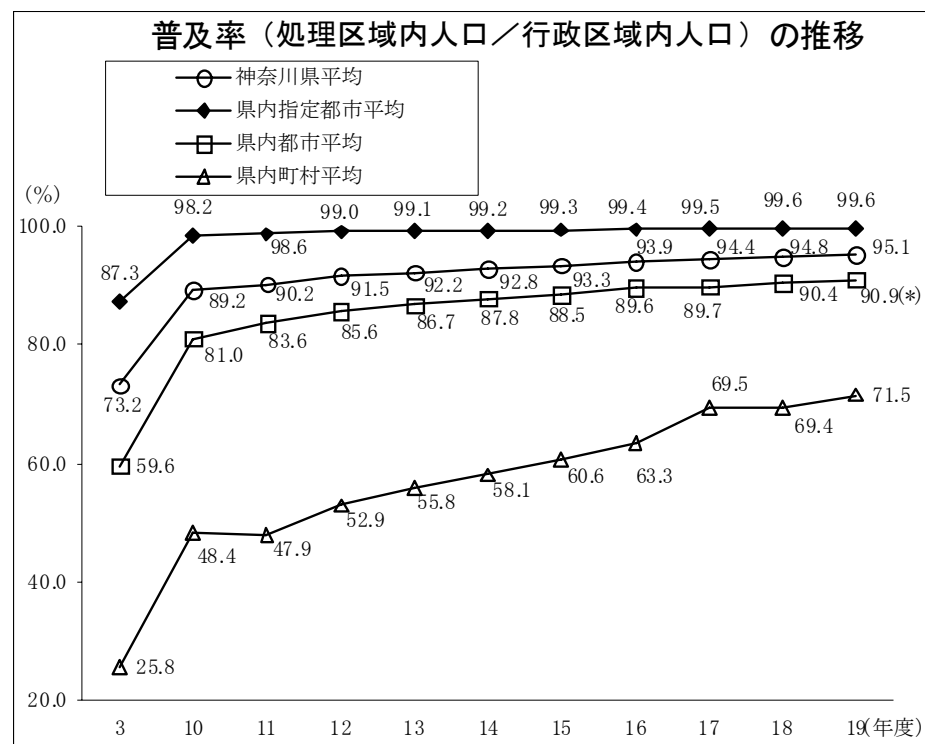
本県の下水道事業数は36事業（うち未供用は1事業）となっている。内訳は、公共下水道が32事業（うち単独公共下水道は10事業、流域関連公共下水道のみが16事業、両者の併用は6事業）、特定環境保全公共下水道が2事業、農業集落排水事業が2事業となっている。なお、流域関連公共下水道は、相模川流域関連が12事業（9市3町）、酒匂川流域関連が10事業（3市7町）である。

下水道事業の実施状況



平成19年度末における処理区域内人口は849万8千人で、前年度（841万人）に比べ8万8千人、1.0%増加している。普及率（行政区域内人口に対する処理区域内人口の割合）は95.1%で、前年度（94.8%）に比べ0.3ポイント上昇している。

また、水洗便所設置済人口は826万4千人で、前年度（811万5千人）に比べ14万9千人、1.8%増加しており、水洗化率（処理区域内人口に対する水洗便所設置済人口の割合）は97.2%で、前年度（96.5%）に比べ0.7ポイント上昇している。



\* 上記表中、県内都市平均の平成19年度数値を次の通り修正しました。（平成22年3月）  
修正前95.9→修正後90.9  
（修正内容）指定都市を除いた都市の平均としました。

## (2) 法適用企業の経営状況

### ア 経常収支

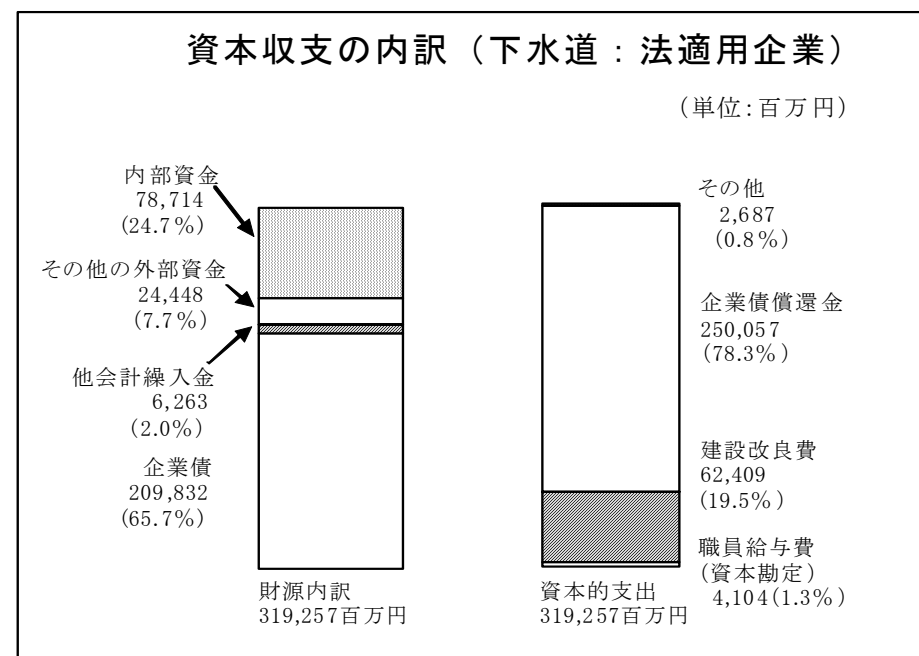
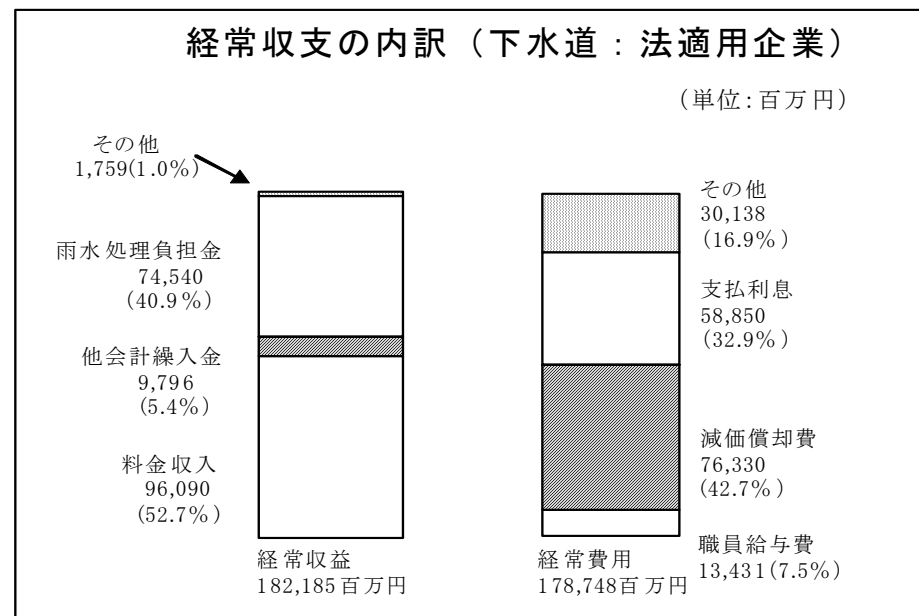
法適用企業の経常収益は、1,821億85百万円で、前年度(1,848億25百万円)に比べ▲26億39百万円、▲1.4%減少し、経常費用は1,787億48百万円で、前年度(1,810億38百万円)に比べ▲22億89百万円、▲1.3%減少している。

この結果、経常損益は34億37百万円の黒字で、前年度(37億87百万円)に比べ▲3億50百万円、▲9.2%減少している。また、経常収支比率は101.9%で、前年度(102.1%)に比べ▲0.2ポイント下降している。

### イ 資本収支

資本的支出は3,192億57百万円で、前年度(2,131億31百万円)に比べ1,061億26百万円、49.8%と大幅に増加(補償金免除繰上償還を除くと7億46百万円、0.4%増加)している。この内訳は、建設改良費が665億14百万円で、前年度(753億34百万円)に比べ▲88億21百万円、▲11.7%と大幅に減少しており、企業債償還金が2,500億57百万円で、前年度(1,367億18百万円)に比べ1,133億39百万円、82.9%と大幅に増加している。また、その他の資本的支出は26億87百万円で、前年度(10億79百万円)に比べ16億8百万円、149.1%の大幅な増加となっている。

これに対する財源は、外部資金が2,405億43百万円で、前年度(1,346億26百万円)に比べ1,059億17百万円、78.7%の大幅増(補償金免除繰上償還に係る借換債を除くと9億66百万円、0.7%増加)となっている。外部資金のうち企業債が2,098億32百万円で、前年度(931億47百万円)に比べ1,166億86百万円、125.3%と大幅に増加し、他会計繰入金が62億63百万円で、前年度(74億37百万円)に比べ▲11億74百万円、▲15.8%と大幅に減少している。一方、損益勘定留保資金等の内部資金は787億14百万円で、前年度(770億22百万円)に比べ、16億92百万円、2.2%増加している。



### (3) 法非適用企業の経営状況

#### ア 収益的収支

法非適用企業の収益的収支のうち総収益は 608 億 99 百万円で、前年度（565 億 51 百万円）に比べ 43 億 49 百万円、7.7%増加している。

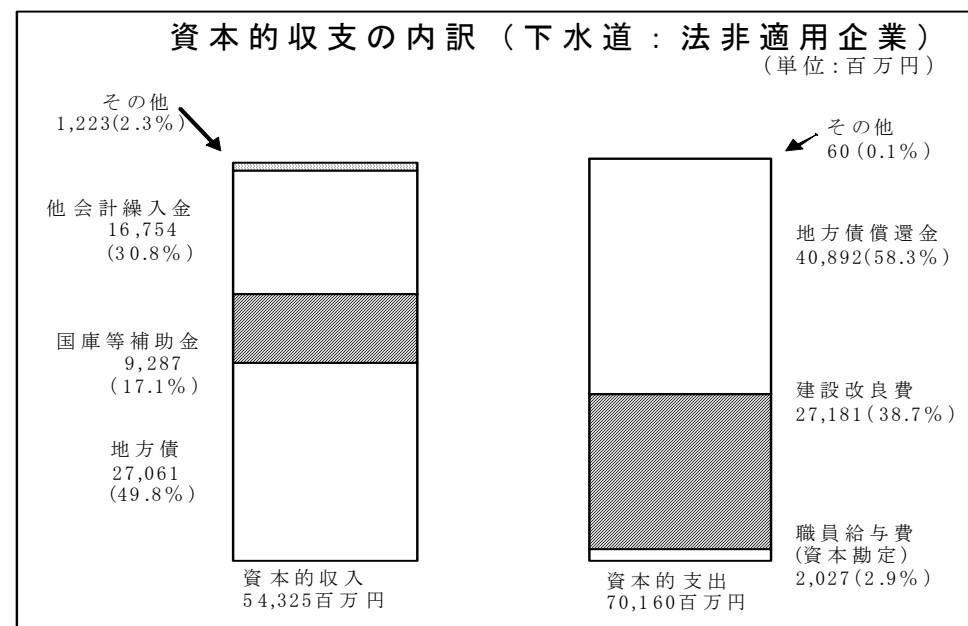
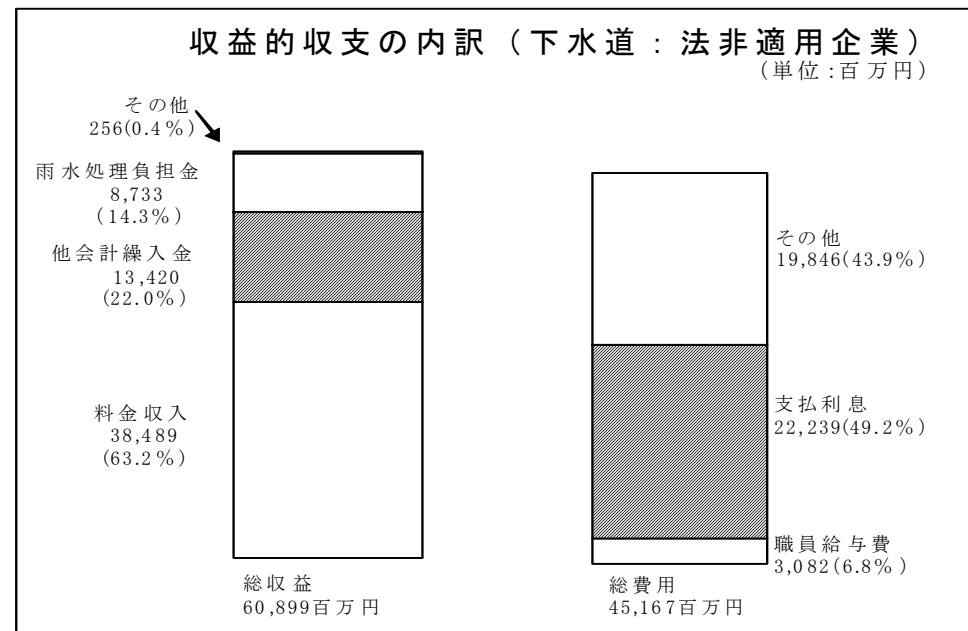
また、総費用は 451 億 67 百万円で、前年度（457 億 94 百万円）に比べ▲6 億 27 百万円、▲1.4%減少している。

この結果、収益的収支は157億32百万円の黒字で、前年度（107億56百万円）に比べ49億76百万円、46.3%と大幅に増加しているが、収益的収支比率（総収益／（総費用＋企業債償還金））は70.8%で、前年度（71.9%）に比べ▲1.1ポイント下降している。

#### イ 資本的収支

資本的支出は 701 億 60 百万円で、前年度（624 億 4 百万円）に比べ 77 億 57 百万円、12.4%と大幅に増加（補償金免除繰上償還を除くと 3 億 32 百万円、0.5%増加）している。このうち建設改良費（資本勘定職員給与費を含む。）は、292 億 8 百万円で、前年度（294 億 84 百万円）に比べ▲2 億 77 百万円、▲0.9%減少しており、地方債償還金は 408 億 92 百万円で、前年度（328 億 10 百万円）に比べ 80 億 82 百万円、24.6%と大幅に増加している。

資本的収入は543億25百万円で、前年度（516億64百万円）に比べ26億60百万円、5.1%増加（補償金免除繰上償還に係る借換債を除くと▲36億55百万円、▲7.1%減少）している。主な内訳をみると、地方債は270億61百万円で、前年度（206億68百万円）に比べ63億93百万円、30.9%と大幅に増加しており、他会計繰入金金は167億54百万円で、前年度（215億36百万円）に比べ▲47億82百万円、▲22.2%の大幅な減少となっている。



#### (4) 経費と財源

##### ア 維持管理費及び資本費の状況

管理運営費（維持管理費＋資本費）は、2,544億42百万円で、そのうち維持管理費は639億33百万円（全体の25.1%）、資本費は1,905億9百万円（同74.9%）となっている。維持管理費の経費別内訳は、汚水処理費498億40百万円（維持管理費全体の78.0%）、雨水処理費113億27百万円（同17.7%）、その他27億66百万円（同4.3%）となっている。また、資本費の経費別内訳は、汚水処理費1,015億33百万円（資本費全体の53.3%）、雨水処理費718億13百万円（同37.7%）、その他171億63百万円（同9.0%）となっている。

##### 維持管理費及び資本費の状況

（単位：百万円、%）

	汚水処理費	雨水処理費	その他	計
維持管理費	49,840 (78.0)	11,327 (17.7)	2,766 (4.3)	63,933 (100.0)
資本費	101,533 (53.3)	71,813 (37.7)	17,163 (9.0)	190,509 (100.0)
計	151,373 (59.5)	83,140 (32.7)	19,929 (7.8)	254,442 (100.0)

##### イ 汚水処理原価と使用料単価

汚水処理原価（汚水処理費を年間有収水量で除したもの）は、157円64銭（維持管理費51円90銭、資本費105円74銭）で、前年度（167円17銭）に比べ▲5.7%減少している。

使用料単価（使用料収入を年間有収水量で除したもの）は、140円15銭で、前年度（139円51銭）に比べ0.5%増加している。

また、本来使用料により回収すべき汚水に係る処理原価について、実際の程度回収しているかを示す数値である経費回収率（＝使用料単価／汚水処理原価）は、88.9%と前年度（83.5%）と比べ5.4ポイント上昇しているが、依然として使用料単価が処理原価を下回っており、今後ともより効率的な経営に努めると

もに、下水道使用料水準の適正化について、普及率の推移等も勘案しつつ検討していく必要がある。

#### (5) 使用料の状況

平成19年度における公共下水道の家庭用20m<sup>3</sup>/月の使用料（消費税及び地方消費税込み）の平均（単純平均）は、1,831円で、料金改定の実施等により、前年度（1,820円）に比べ11円、0.6%上昇している。

##### 汚水処理原価・使用料単価等の状況

（単位：円（銭）、%）

項目	年度	19	18	増減	
				増	減率
使用料単価 (円/m <sup>3</sup> ) (A)		140.15	139.51	0.64	0.5
汚水処理原価 (円/m <sup>3</sup> ) (B)		157.64	167.17	▲9.53	▲5.7
維持管理費		51.90	51.40	0.50	1.0
資本費		105.74	115.77	▲10.03	▲8.7
差 (A)-(B)		▲17.49	▲27.66	10.17	▲36.8
経費回収率(% (A)/(B)		88.9	83.5	5.4	-
家庭用使用料(20m <sup>3</sup> /月) (公共下水道)		1,831	1,820	11	0.6

## (6) 他会計繰入金の状況

下水道事業の他会計繰入金は1,295億7百万円で、前年度(1,358億71百万円)に比べ▲63億65百万円、▲4.7%減少している。

内訳は、収益的収入への繰入金が1,064億90百万円で、前年度(1,068億98百万円)に比べ▲4億8百万円、▲0.4%減少しており、資本的収入への繰入金が230億17百万円で、前年度(289億73百万円)に比べ▲59億56百万円、▲20.6%と大幅に減少している。

また、基準外繰入金については、収益的収入では73億76百万円(収益的収入への繰入金総額の6.9%)、資本的収入では134億57百万円(資本的収入への繰入金総額の58.5%)で、繰入金総額では208億33百万円(繰入金総額の16.1%)となっている。

### 他会計繰入金の状況

(単位:百万円,%)

項目	年度	19	18	増 減	
				額	率
収益	基準内	99,114	94,867	4,247	4.5
	基準外	7,376	12,031	▲ 4,655	▲ 38.7
	計	106,490	106,898	▲ 408	▲ 0.4
資本	基準内	9,559	11,849	▲ 2,289	▲ 19.3
	基準外	13,457	17,124	▲ 3,667	▲ 21.4
	計	23,017	28,973	▲ 5,956	▲ 20.6
合計	基準内	108,673	106,716	1,957	1.8
	基準外	20,833	29,155	▲ 8,322	▲ 28.5
	計	129,507	135,871	▲ 6,365	▲ 4.7